

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

事業名 学校保健総合支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校保健係 電話番号：058-272-1111(内8712)

E-mail : c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

915千円 (前年度予算額：

904千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	904	0	0	0	0	0	904	0	0
要求額	915	0	0	0	0	0	915	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・2人に1人が罹患するという「がん」について、教育の必要性が問われており、これまで、中学校、高等学校の保健体育科の授業を中心としたがん教育の実践研究を進めてきた。今後は、さらに健康教育の一環として位置付くようがん教育の充実が求められている。
- ・外部講師を活用した授業については、モデル授業の取組や指導者研修会において周知を図ってきたものの、プラス1時間のがん教育は広く実施されている状況に至っていない。今後は、市町村教委の協力も得ながら、周知を図っていく。

(2) 事業内容

- ・専門医やがん経験者、学校関係者からなるがん教育推進協議会を開催し、岐阜県のがん教育の推進を図る。
- ・県内で広く外部講師を活用したがん教育が実施されるよう、各地区ごとに数校ずつ授業を実践する学校に外部講師を派遣する。

(3) 県負担・補助率の考え方

・国委託事業

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	617	講師謝礼
旅費	298	講師等旅費
合計	915	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月）
 - 第2 分野別施策と個別目標
 - 4. これらを支える基盤の整備
 - (3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

(2) 国・他県の状況

平成30年度までは、性に関する指導普及推進、薬物乱用防止教育支援、がん教育総合支援事業を国の委託事業として実施してきた。

文部科学省の委託内容変更により、令和3年度からは、がん教育総合支援事業のみ実施している。全国で多くの県が、本事業を活用してがん教育を推進している。

本県としては、平成30年度から継続的に取り組んできており、学校におけるがん教育が健康教育の一環として位置付くように推進していく。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・外部講師を活用したがん教育を推進していくために、指定校においてモデル授業及び指導者講習会を実施する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H30)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①外部講師を活用したがん教育の実施	0回	19回	20回	20回	20回	%
②協議会の開催回数	0回	2回	2回	2回	2回	%

○指標を設定することができない場合の理由

（記入欄）

(これまでの取組内容と成果)

令 和 4 年 度	県内5地域で授業実践を行い、がん教育の進め方について研修を行った。がん教育の講師となる医師やがん経験者等を集め、指導者研修会を実施した。
	指標① 目標：5回 実績：5回 達成率： <u>100</u> %
令 和 5 年 度	県内5地域で授業実践を行い、がん教育の進め方について研修を行った。がん教育の講師となる医師やがん経験者等を集め、指導者研修会を実施した。
	指標① 目標：5回 実績：5回 達成率： <u>100</u> %
令 和 6 年 度	県内5地域で授業実践を行い、がん教育の進め方について研修を行った。がん教育の講師となる医師やがん経験者等を集め、指導者研修会を実施した。
	指標① 目標：20回 実績19回 達成率：95%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	がん教育は、がん対策推進基本計画等にも位置付けられ、学校での教育の充実を求められている。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 1	地域によって取り組み方が異なり、どの地域でも推進できるだけの状況には至っていない。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	外部講師を活用した授業が実践できるよう研修会の内容を見直している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

各地域で外部講師を派遣するための予算措置を含めた仕組みづくりが必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

各市町村教育委員会でがん教育を推進していくようにするために、県として体制づくりを継続して進めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	